

1. 助成事業実施報告書

R6年 3月 14日

助成事業実施報告書

団体名 クックキッチンたまかわ

代表者・役職名 氏名 代表 佐藤恵美

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

こども食堂 支援助成

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

活動名称: みんなが集まれる「みんなの食堂」開催事業

実施場所: 〒963-6302 福島県石川郡玉川村南須釜奥平 290 や村内イベント施設

建物概要: すがまプラザ交流センター、村内イベント施設等

開催日時: 毎月第2土曜日 10時~15時

利用料金: 子ども(高校生まで)は無料。大人 500円/回

取組内容: ・子どもたちには食事+食後にゲーム等のイベント交流等を実施

・村内の施設や事業者と連携し、常に新しい体験や経験を積めるようにする。

・食事は調理師・栄養士が監修した地元食材をメインとしたメニューとする

その他: 新型コロナウイルス感染症対策が必要な場合には、参加者の体温と名簿記入、SNS等による連絡網の整備、マスク着用、定期的な換気、アルコールによる手指消毒、感染予防喚起ポスターの設置など、包括的な感染防止対策を行う。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

本年度は、実施回数7回、参加者数のべ329名でした。昨年は207名でしたので、事業を継続していることで着実に参加者を増やすことができましたと感じました。取り組み内容としましても、当初の計画通り食事やレクリエーションを通じた交流イベントに加え、地域イベントとの連携により当団体の周知なども達成することができました。

例えば、11月に開催された「たまかわ産業まつり」では、村内の施設・事業者など地域との交流を図るため、大人には現金で500円を寄付してもらい、それを子ども達に「500円チケット」として配って地元商店の露店やキッチンカーで買い物に使ってもらう「ペイフォワード企画」に参加してもらうなど、こども食堂の名前や活動の周知や地域意識の向上に務めました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

現状感じている課題としましては、現在の子ども食堂の実施場所が村内の中心地から離れている地区であるため、子どもだけの参加が難しいことだと考えております。また、良くも悪くもリピーターの子ども達が多く、新しい参加者の取り込みができていないことも課題として感じています。

今後はそれらの解消のため、地域の教育委員会や自治体、一般企業などと連携することで徐々に認知度の向上による集客力の向上に努めていきたいと考えております。

また、今後の活動として取り組んでいきたい企画としては、例えば農業体験や民芸体験といった体験型のコンテンツを取り入れて地域文化を経験してもらえるような企画を計画したり、上記したような地域との連携力を高めていけるような企画を進めていきたいと考えております。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

